

24年度全国中学生人権作文コンテスト
東京都大会奨励賞

さりげなく譲れる社会を

矢澤文藝さん（新宿西戸山中3年）

僕は小学生の頃、将棋を習うため、毎週日曜日、千駄ヶ谷の将棋会館へ通っていた。いつものように将棋会館へ向かう電車に乗り、空いていた座席に座って車内を見渡した。すると、僕の斜め前方の席で、スーツ姿の身なりもちゃんとしている若い男性二人が足を大きく広げ、あたり構わず大声で話していた。人を見た目だけで判断してはいけないが、服装や身なりからはそんな不作法な態度をとると思えない二人だった。しかも、その二人が座っている席は優先席だった。

周りには何人も大人がいた。しかし、誰も彼らを注意しなかった。もちろん小学生の僕が注意できるはずもなかったが、彼らより明らかに年上である大人達は迷惑そうに顔をしかめながらも知らんぷりを決めこんでいて、いやな空気が漂っていた。

そんな車内へ、ある駅から杖をついたお年寄りが乗車し、一人の前に立った。僕が乗った時点ではまばらに空いていた座席もすでに全部埋まり、多くの人が立っていた。僕は二人に注目した。彼らはお年寄りの存在に気づきながらも、視界に敢えて入れないようにし、それまでと全く変わらない態度と大声で話し続けていた。僕はたまにかねてお年寄りに席を譲ろうと考えたが、僕の座席がそのお年寄りから少し遠かったこと、周囲にたくさん乗客がいたことが足かせとなり、結局何も出来なかった。

ことで、お年寄りが申し訳ない気持ちにならず、気兼ねなく座り続けられるよう、その後のお年寄りの気持ちまで考えて移動したのだ。一手二手先を読む洞察力を養うために将棋教室に通っていた僕だったが、青年の気配りの先は読めなかった。

あれから何年か経った昨年の夏休み、家族で台湾へ旅行した。あまり報道されなかったが、台湾からは東日本大震災に対して二百億円あまりの義援金が届けられた。国境を超えた深い友情と連帯を示してくれた台湾の人々に直接触れさせたいと、両親が僕たち兄妹を台湾へ連れて行ったのだ。

台北の地下鉄にも、「博愛座」と名付けられた座席があった。しかし、日本と大きく違うのは、博愛座はどんなに車内が混んでいても必要な人が乗車してきた場合のために、常時空けてあるのだ。これなら譲る側の葛藤とも譲られる側の遠慮とも無縁だ。恥ずかしがり屋の日本人には、このスタイルはぴったりではないか。しかも、感心したことに、台北では普通の座席に座っている健康者が、率先してお年寄りや体の不自由な方にごく自然に座席を譲るのだ。

青年の行動は例の二人にも何かを感じさせたらしく、さすがの彼らも大声で話すのをやめ、そろって下を向いた。彼らにも多少の良心があったのだ。僕も子どもなりにほっとした。

けれど、あの青年はお年寄りに座席を譲ったあと、なぜ場所を移動したのだろう…。僕だったら、席を譲っても、お年寄りの前に立ち続けたらどうに…。小学生だった当時の僕には青年の行動が理解できなかった。しかし、中学生になった今は分かる。青年はお年寄りから離れる

地下鉄ばかりではない。道がわからず、地図を広げて困っている日本人の僕たちに、台湾の人たちは丁寧に道を教えてくれた。自分の携帯を使い、タクシーを呼んでくれた人すらいた。滞在中、何度かそんな親切に出会った。これは単なる偶然ではない。そこに僕は「博愛座」という言葉どおりの台湾の方々の純朴さが生きていくような気がした。見習っ

べき台湾の美点だ。

日本人も本来は優しい性質の国民だがシャイな気質が足を引く張っているのかもしれない。この台湾旅行をとおして、助け合いの心や譲り合う精神をおしつけがましくなく、スマートにさりげなく出せる社会を日本にも作っていきたく強く願った。

24年度全国中学生人権作文コンテスト
東京都大会

●区代表(奨励賞)

▼「さりげなく譲れる社会を」矢澤文藝さん(新宿西戸山中3年)

●区代表(作文委員会賞)

▼「人権社会の歴史とこれから」渡辺澤さん(四谷中3年)

▼「彼らに必要なもの」金

いえらんさん(東京韓国学校中等部3年)

●参加校代表

▼「いじめ」のない社会へ」岩下僚我さん(牛込第一中2年)

▼「平和な世界を求めて」山崎ここねさん(牛込第二中2年)

▼「いじめと人権」菅野結女さん(牛込第三中3年)

▼「いじめをなくす第一歩」小椋直さん(四谷中3年)

▼「壁をのりこえて」藤田弥空さん(落合中1年)

▼「一人の勇気がみんなの笑顔に」清水あゆみさん(落合第二中2年)

▼「未来への架け橋」松田岩奇さん(新宿中3年)

▼「明るい未来のために。一歩ずつ」志田侑優さん(新宿西戸山中2年)

▼「あなたの長所」崔滋恩さん(東京韓国学校中等部2年)

シニア世代の活動拠点

戸山シニア活動館
25年1月4日(金)オープン

★施設概要

戸山ことぶき館は、シニア世代の皆さんのボランティアなどの社会貢献活動の拠点や、高齢者の方の仲間づくりや自主活動の場となる「戸山シニア活動館」に生まれ変わります。指定管理者が運営します。利用方法等詳しくは、お問い合わせください。

【問合せ】12月28日(金)までは高齢者福祉課高齢者事業係(本庁舎2階) ☎(5273)4567、25年1月4日(金)からは戸山シニア活動館 ☎(3204)2422へ。

★団体登録・団体利用

【問合せ】12月28日(金)までは高齢者福祉課高齢者事業係(本庁舎2階) ☎(5273)4567、25年1月4日(金)からは戸山シニア活動館 ☎(3204)2422へ。

付きます。2月の利用は、1月4日(金)から戸山シニア活動館で受け付けます。

★個人利用

区内在住の50歳以上の方が対象で、利用には申請が必要です。1月4日(金)から、戸山シニア活動館で受け付けます。

利用説明会を開催

【日時】12月7日(金)午後2時～3時30分

【会場】教育センター(大久保3-1-2、新宿コズミックセンター15階)

【内容】利用案内、指定管理者の紹介、団体登録と1月の団体利用申請の受け付け等

25年1月～3月クラスの元気な高齢者向け介護予防教室
参加者を募集

【日時・会場・内容等】下表のとおり。各全12回程度(受付番号3のみ全8回)

※時間の午前は10時～11時30分、午後は2時～3時30分(受付番号12のシニアパワーアップ教室は午後1時30分～3時)

【対象】区内在住の65歳以上で、介護保険の「要支援」「要介護」認定を受けていない方。健康状態により参加をお断りすることがあります。

【費用】1回100円

【申込み】はがき(往復はがきではありません)に記載例(5面参照)のほか生年月日・希望する教室の受付番号(第2希望まで希望順に記入可)を記入し、12月7日(金)消印有効)までに高齢者福祉課高齢者事業係(〒160-8484歌舞伎町1-4-1、本庁舎2階) ☎(5273)4568へ。はがきは1人1枚。応募者多数の場合は抽選し、結果は12月14日(金)ころお知らせします。

★パワーアップ高齢者(区の健康診査等の結果、介護予防の取り組みが必要と判定された方)が対象の介護予防教室(対象の方には個別にご案内)を含め、同じ時期に複数の教室には参加できません。

教室名	受付番号	会場	曜日・時間	定員
脳はつらつ教室 認知症の予防 ※認知症と診断されている方を除く	1	早稲田南町地域交流館(早稲田南町50)	火曜日午後	18名
	2	北新宿第二ことぶき館(北新宿3-20-2)	水曜日午後	18名
骨盤底筋向上教室 尿漏れ予防(女性対象)	3	介護老人保健施設マイウェイ四谷(大京町1)	木曜日午後	10名
シニアスポーツ チャレンジ教室 足腰の筋力を向上させ 転倒を予防(立位中心)	4	中落合高齢者在宅サービスセンター(中落合1-7-1)	火曜日午前	10名
	5	東京都健康プラザハイジア(歌舞伎町2-44-1)	火曜日午前	13名
	6	北山伏ことぶき館(北山伏町2-17)	木曜日午後	20名
	7	高田馬場第二ことぶき館(高田馬場1-4-17)	木曜日午前	20名
	8	落合三世代交流サロン(西落合1-31-24、西落合児童館2階)	水曜日午後	20名
	9	北新宿地域交流館(北新宿2-3-7)	水曜日午前	20名
シニア パワーアップ教室 全身の筋力の低下を 予防	10	細工町高齢者在宅サービスセンター(細工町1-3)※トレーニングマシンを使用	木曜日午前	10名
	11	介護老人保健施設デンマークイン新宿(原町2-43) ※プールでの水中運動。区の健康診査(24年度)の受診結果の提出が必要	金曜日午前	8名
	12		金曜日午後	8名